

JPPA AWARDS 2018

Jppa AWARDS 2018



第22回 JPPA AWARDS 2018 一般の部入賞者の方々

一般社団法人日本ポストプロダクション協会（JPPA）は、2018年5月25日・ガストリングス表参道（東京・港区）にて、第22回「JPPA AWARDS 2018」贈呈式が催され、学生の部、一般の部において各賞が発表された。

「経済産業大臣賞」には、「特集ドラマ 眩 ～北斎の娘～」(映像技術部門＝グレーディングカテゴリー、ジャンル：共通、ゴールド賞)、担当のNHKメディアテクノロ

ジーの関口寛子氏が受賞した。

映像技術部門グランプリには、「AIG ジャパン・ホールディングス / # Tackle The Risk」コンポジット/VFX カテゴリー、ジャンル：広告＝ゴールド賞に担当の株式会社デジタル・ガーデン、金沼伶氏が受賞した。

音響技術部門グランプリには、「絶景にっぽん月の夜」ミキシングカテゴリー、ジャンル：テレビ＝ゴールド賞に、担当の株式会社IMAGICAの小田崇氏が受賞した。

その他は、一覧表のとおりである。



会長就任のご挨拶 三上 信一 JPPA 会長

第22回 JPPA AWARDS 2018 一般の部入賞作品①

★映像技術部門★			
カテゴリー	ジャンル	ゴールド賞	シルバー賞
エディティング	広告	SONY SXSW Concept Video "The WOW Factory" 株式会社スタッド 関田 太一	Nissin CupNoodle Hungry K篇 株式会社スタッド 関田 太一
	テレビ	CRisis 公安機動捜査隊特捜班 episode.1 株式会社オムニス・ジャパン 石川 浩通	ETV特集「人形の手 表現し続ける者たち」 株式会社IMAGICA 佐分利 良展 僕は生で多くを始めたよ 日本TV放送株式会社 小林 弘幸
	その他	該当作品なし	ドラマ 僕だけがいない街 第1話 株式会社IMAGICA 塚元 隆次 トヨタ START YOUR IMPOSSIBLE クルマから愛を、もっと 株式会社ピラミッドフィルム P.T.HREE 長崎 謙一
コンポジット/VFX	広告	AIGジャパン・ホールディングス「#TackleTheRisk」 株式会社デジタル・ガーデン 金 沼 伶	TOYOTA ヴィッツ オオミ篇 株式会社オムニス・ジャパン 関 寛子 / 山本 哲也 psymo Table Trick 株式会社オムニス・ジャパン 三浦 雄大
	テレビ	NHKスペシャル 戦後40年 東京ブракホール 株式会社NHKアート 林 典彦 / 小澤 泰夫 / 吉田 秀一	該当作品なし
	その他	BKVRライド「東京VICTORY」 株式会社デジタル・ガーデン 平嶋 昌成	22年目の告白 一私が殺人犯で〜 タイトルバック 株式会社IMAGICA 塚元 隆次
グレーディング	共通	特集ドラマ 眩～北斎の娘～ 株式会社NHKメディアテクノロジー 関口 寛子 雪印「now&then 人は昔から知っている」篇 株式会社オムニス・ジャパン 今西 正樹	観望 株式会社IMAGICA 北山 夢人 塚元 隆次 株式会社IMAGICA 石川 洋一
	共通	関ジャム完全燃SHOW #B7「超カッコ良いベースの世界」 株式会社IMAGICA 鈴木 かわり / 竹内 雅雄	日本の聲 #B2 株式会社モイ 本間 亮 / 高山 和之
テロップデザイン	共通	該当作品なし	該当作品なし

★音響技術部門★			
カテゴリー	ジャンル	ゴールド賞	シルバー賞
ミキシング	広告	NTTドコモ 25周年ムービー 「いつか、あたりまえになることを。」 株式会社デジタル・ガーデン 橋山 敬也	該当作品なし
	テレビ	絶景にっぽん月の夜 株式会社IMAGICA 小田 崇	土曜プレミアム 30年目の真実 高崎勲の肉声 株式会社東京サウンド・プロダクション 大出 典夫 関ジャム完全燃SHOW #119 「もっと知ってほしいドラマの世界を特集」 株式会社IMAGICA 阿部 哲也
	その他	僕だけがいない街 株式会社IMAGICA 小松 達彦	Document of Namie Amuro Finally #1 株式会社オムニス・ジャパン 小川 るみ
★音響技術部門★			
カテゴリー	ジャンル	ゴールド賞	シルバー賞
サウンドデザイン	広告	該当作品なし	Audi Q2 WEB 株式会社TYOテクノロランチ 川村 実剛
	テレビ	応募作品なし	応募作品なし
	その他	該当作品なし	該当作品なし



「経済産業大臣賞」[特集ドラマ 眩 ～北斎の娘～]
(映像技術部門=グレーディングカテゴリー、ジャンル:
共通、ゴールド賞)、担当のNHKメディアテクノロジー
の関口寛子氏。



映像技術部門グランプリ「AIG ジャパン・ホールディン
グス/# Tackle The Risk」コンポジット/VFX カテ
ゴリー、ジャンル: 広告=ゴールド賞に担当の株式会社
デジタル・ガーデン、金沼伶氏。



音響技術部門グランプリ「絶景にっぼん月の夜」ミキ
シングカテゴリー、ジャンル: テレビ=ゴールド賞に、
担当の株式会社 IMAGICA の小田崇氏。

JPPA AWARDS 2018 一般の部入賞作品② (敬称略)

審査員特別賞	映像技術部門	音響技術部門	
	コンポジット/VFX 広告 ACジャパン 九州キャンペーン 「デジタルTATOO」 株式会社ビデオ・ステーション・ニュー 産業 変換	該当作品なし	
	コンポジット/VFX 広告 [凸版印刷株式会社 「IMAGINE2020 Printed By TOPPAN マラソン」篇] 株式会社IMAGICA 大宮 寛之 / 小野原 康 コンポジット/VFX その他 amazarahashi 「つじつま合わせに生まれた僕ら」 株式会社オムニコム・ジャパン 山本 賢也		
	グレーディング 共通 エスピー食品株式会社 「SS日本生 「わびのほなし」篇」 株式会社IMAGICA 石川 洋一		
	グレーディング 共通 Time Trip日本の海岸線 伊能忠敬の軌跡 株式会社東京サウンド・プロダクション 小林 繁之		
	映像技術部門		音響技術部門
	エディティング テレビ 刀剣乱舞 おっせいにのけの刀剣乱舞 #6 株式会社IMAGICA 田島 香織		ミキシング その他 [次の船長生PREBORN] 第5話
	テロップデザイン 共通 ホンマでっか!?TV #25B 株式会社IMAGICA 門山 周介 / 小林 美香 / 近藤 祥志		株式会社東京サウンド・プロダクション 中村 佳織
	映像技術部門		音響技術部門
	AIGジャパン・ホールディングス「#TackleTheRisk」 株式会社デジタル・ガーデン 金 沼 伶		絶景にっぼん月の夜 株式会社IMAGICA 小田 崇
	技術部門 カテゴリー ジャンル 株式会社NHKメディアテクノロジー 関口 寛子		

映像技術	音響技術
エントリー賞 19作品	エントリー賞 16作品
ゴールド賞 1作品	ゴールド賞 2作品
シルバー賞 3作品	シルバー賞 2作品
特別賞 4作品	特別賞 2作品
計 37作品	計 20作品

JPPA AWARDS 2018 学生の部入賞作品 (敬称略)

部門	カテゴリー	ジャンル賞	シルバー賞
映像技術部門	ドラマ	「月の後ろ」 日本映画大学 宗 良規 / 内山 遼希 / 西川 球人	Left Alone 日本大学芸術学部 星野 幸輔 / 林 大智
音響技術部門		「月の後ろ」 日本映画大学 橋本 奈実 / 土屋 周希	向こうの岸 東京芸術大学大学院 三好 悠介 / 村貫 誠 / 大橋 征人
映像技術部門	ドキュメンタリー その他	該当作品なし	インスタイルパトル 学校法人専門学校東京ビジュアルアーツ 清野 祥多 / 矢野 聖祐 / 藤田 晴良
音響技術部門	他	オンステージ! 日本工学院八王子専門学校 江夏 彩夏 / 中島 崇徳 / 桑田 晃生	該当作品なし
映像技術部門	CG アニメーション	該当作品なし	seeable 名古屋芸術大学 寺井 英博 / 安井 梨乃 / 秋野 慎太郎
音響技術部門		該当作品なし	ミラクルのとし子 日本工学院専門学校 尾野 穂任 / 太田 直治 / 新井 和規
特別賞	映像技術部門 ドラマカテゴリー	映像技術部門 CG アニメーションカテゴリー	
	映像技術部門 ドラマカテゴリー おたけのひかる 日本大学芸術学部 川瀬 佳和子	映像技術部門 CG アニメーションカテゴリー ミラクルのとし子 日本工学院専門学校 二村 幸々	
	映像技術部門 ドラマカテゴリー Z 学校法人専門学校東京ビジュアルアーツ アマリエイ カタリーナ アンドレア 高坂 大樹 / 藤村 良孝	音響技術部門 ドラマカテゴリー じゅじゅん機嫌こんにちは 日本大学芸術学部 渡部 未佳	
	映像技術部門 ドキュメンタリー その他カテゴリー	音響技術部門 CG アニメーションカテゴリー	
	オンステージ! 日本工学院八王子専門学校 金子 愛 / 菊地 夏実 / 海瀬 裕貴	クリアーズ 日本工学院専門学校 尾野 穂任 / 川崎 希希	

映像技術	音響技術
エントリー賞 10作品	エントリー賞 25作品
ゴールド賞 8作品	ゴールド賞 2作品
シルバー賞 11作品	シルバー賞 4作品
審査員特別賞 5作品	審査員特別賞 該当作品なし
新入賞 21作品	新入賞 1作品
計 35作品	計 32作品

【応募作品数】()内は昨年

応募本数合計 映像技術部門 音響技術部門
一般の部 134 (92) 109 (65) 25 (27)
学生の部 35 (37) 19 (24) 16 (13)

審査員一覧

(★印は各部門の座長)

【一般の部】

○映像技術部門

★只野 信也

協同組合日本映画・テレビ編集協会 理事長

加納 満 フリーディレクター・プロデュー

サー 株式会社プロジェクトQ

佐藤 友哉

フリーエディター 株式会社 zero

松崎 茂登

有限会社マテ社 CMディレクター

杉浦 田枝 フリーエディター

杉山 裕信 (新任)

カラーリスト 色彩工房 オフィス HIRO

林 和哉 (新任)

フリーランス 株式会社アルペディア代表

○音響技術部門

★多良 政司 フリーミキサー

川口 俊秋 フリーミキサー

ジミー寺川 有限会社ジミーズ 代表

桑木 知二 (新任)

フリーランス Sound produce & design

江夏 正晃 (新任)

株式会社マリモレコース 代表取締役

【学生の部】

○映像技術部門

★達富 喜美男 株式会社キュー・テック

白川 幸宏

有限会社ディーアンドエーミュージック

(JPPA 技術委員)

近藤 貴弓 株式会社NHKメディアテ

クノロジー (前年受賞者)

小木曾 功治 株式会社デジタル・ガー

デン (前年受賞者)

柳下 兼浩 株式会社日テレ・テクニカル

リソーシズ (前年受賞者)

○音響技術部門

★田中 政文

株式会社東京サウンド・プロダクション
澤田 弘基

株式会社東海サウンド (前年受賞者)
久保田 敏之 NTT ラーニングシステム株式会社 (前年受賞者)
望月 直矢

株式会社 IMAGICA (前年受賞者)
濱田 豊

株式会社東京サウンド・プロダクション
【経済産業大臣賞】

★阿部 正吉 学識経験者

菊地 実
株式会社メディア開発総研 特任研究員
山崎 芳男 早稲田大学名誉教授
八木 信忠 日本大学名誉教授
黒田 明
株式会社ワンダラクティブ 取締役会長

沢口 真生 有限会社沢口音楽工房 代表
経済産業省商務情報政策局コンテンツ産業課 担当官 (オブザーバー)

援助金拠出社一覧

JPPA AWARDS 2018 開催にあたり、援助金のご協力をいただきました。ご協力に感謝申し上げます。

【賛助会員Ⅰ】 (敬称略)

アベックス株式会社 / オタリテック株式会社 / 共信コミュニケーションズ株式会社 / 株式会社グリーンツリー / 株式会社テクノハウス / Dolby Japan 株式会社 / ナショナル物産株式会社 ビデオ・グラフ事業部 / ニッキャビ株式会社

【賛助会員Ⅲ 関連団体】 (敬称略)

一般社団法人日本映画テレビ技術協会 / 一般社団法人特定ラジオマイク運用調整機構

【正会員】 (敬称略)

株式会社アイネックス / アオイスタジオ株式会社 / 株式会社 IMAGICA ウェスト / 株式会社イメージスタジオ・イチマルキュウ株式会社 / エス・シー・アライアンス / 株式会社NHKメディアテクノロジー / NTTラーニングシステムズ株式会社 / 株式会社オムニバス・ジャパン / 株式会社音響ハウス / 株式会社 Zaxx / 株式会社三和映材社 / 株式会社スタッド / ソニー PCL 株式会社 / 株式会社デジタルエッグ / 株式会社東京サウンド・プロダクション / 株式会社日テレ・テクニカル・リソース / 株式会社ハーフエイチ・ピースタジオ / 株式会社ヒューマックスシネマ / 株式会社ピラミッドフィルム PTHREE / 三友株式会社 / レスパビジョン株式会社

一般社団法人日本ポストプロダクション協会は、JPPA 三大事業を発表した。

第 20 回 映像音響処理技術者資格認定試験

映像音響処理技術者資格認定制度について
橋詰 勝朗 資格認定制度委員会 委員長

【概要】

●一般社団法人日本ポストプロダクション協会が行なう、社会還元事業のひとつであり、人材育成を主目的とし産学協同で推進している制度。

●映像・音響関連業界への就職希望者に、最低限身につけておいて欲しい「基礎技術知識」と、学校での教育カリキュラム上で学生に習得させることが可能な範囲とをすり合わせながら試験のレベルを設定し、映像産業に従事するために必要なレベルに達している者を「映像音響処理技術者」として認定する。

●この制度により、学校は資格取得を視野に入れた効率的な学習を進めることができ、学生の意欲の向上や、学習する上での目標値の設定にも役立つ。また就職活動においては、一定レベルの技術基礎知識を有している者とみなされ、採用に優遇される場合も多い。現在、制度参加校数は、全国で 69 校。

●映像・音響関連の企業においても、社内の社員教育としてのご活用や、推奨資格としてのご採用といったケースが年々増えて

いる。(ポストプロダクション、制作会社、ケーブル TV 局、放送機材メーカー、放送機材販売会社、Web 関連会社など)

●1999 年の第 1 回試験以降、1 年に 1 度実施しており、今年で 20 回目となる。

【近年の傾向】

●ここ数年の傾向として、社会人の受験数の増加がみられる。コンテンツの input/output が増え、メディアが多様化し映像制作の裾野が広がる中、より多くの映像産業従事者に、ポストプロ技術の基礎が必要とされているものと思われる。

●JPPA 会員社では、今までも多くのポストプロダクションやメーカー、販売会社において、社内教育に当該資格が活用されてきた。今年もさらに多くの企業で、新入社員への技術知識教育や中堅のブラッシュアップとして採用いただき、最低限必要な技術レベルの目安として活用いただくこととなった。今後も制度参加校や、JPPA 会員社・会員学校の協力のもと、制度の推進につとめていく。

【本年度予定】

第 20 回 映像音響処理技術者資格認定試験

●日 程：2018 年 6 月 3 日 (日)

会 場：全国 41 会場

●受験申請者数：1,661 名

※第 1 回から第 19 回 (前回) までの、のべ合格者数 (有資格者数) は、約 20,000 名。平均合格率は約 70%。

第 15 回 九州放送機器展 (QBE)

九州放送機器展 (QBE) 2018 について
渡辺 明男 広報委員会 委員長

■ 開催日程

会期：7 月 5 日 (木) 10:00 ~ 18:00
7 月 6 日 (金) 10:00 ~ 17:00

会場：福岡国際センター 福岡市博多区築港本町 2-2

■ 後援

経済産業省九州経済産業局 / 総務省九州総合通信局 / 福岡県 / 福岡市

(一社) 日本映画テレビ技術協会 / NHK 福岡放送局 / RKB 毎日放送 / 九州朝日放送 / TNC テレビ西日本 / FBS 福岡放送 / TVQ 九州放送 / ジェイコム九州 / 西日本新聞社 / 日本ケーブルテレビ連盟 九州支部 / (一社) 日本 CATV 技術協会 九州支部 / FM 福岡、クロス FM / Love FM (予定)

■ 協賛

九州映像製作社連盟

出展各社 (メーカー・販売代理店)

■ 協力

(株) 映像新聞社 / (株) 電波新聞社 / (株) 電波タイムス社 / (株) 九州ハートス / (株) 新協社 / (株) ストロベリーメディアアーツ / (株) スタッフ

■ 年度別 出展社数、小間数、来場者

第 1 回 2004 年 ソフトリサーチ
18 社 33 コマ 650 名

- 第2回 2005年 パヴェリアホール
44社 105コマ 1000名
- 第3回 2006年 福岡国際センター
64社 139コマ 1200名
- 第4回 2007年 福岡国際センター
87社 170コマ 1610名
- 第5回 2008年 マリンメッセ
105社 194コマ 1780名
- 第6回 2009年 福岡国際センター
96社 155コマ 1515名
- 第7回 2010年 福岡国際センター
84社 140コマ 1780名
- 第8回 2011年 福岡国際センター
93社 170コマ 1980名
- 第9回 2012年 マリンメッセ
102社 173コマ 2260名
- 第10回 2013年 福岡国際センター
119社 184コマ 2275名
- 第11回 2014年 福岡国際センター
117社 178コマ 2666名
- 第12回 2015年 福岡国際センター
128社 210コマ 2735名
- 第13回 2016年 福岡国際センター
145社 220コマ 2410名
- 第14回 2017年 福岡国際センター
155社 235コマ 2120名
- 第15回 2018年 福岡国際センター
140社 221コマ
- ※5月15日現在
※第1回のみ1日開催。

■出展社状況 (5/15 現在)

- 140社、団体、221小間 (来場者目標は3000名)
- 内訳 映像ゾーン 87社 145小間
オーディオゾーン 30社 37小間
照明ゾーン 8社 10小間
屋外ブース 1社 3小間
カメラ 3社 3台
協力会社 6社 4小間
学校ブース 6校 7小間
セミナーのみ 1社
JPPAブース 2小間

■出展社セミナー

【株式会社 Spectee】

- AIによるニュース制作の最新トレンド
7/5 (木) 10:30 ~ 11:15 セミナー室C
7/6 (木) 10:30 ~ 11:15 セミナー室C

【MEDIAEDGE 株式会社】

- 内容未定
7/5 (木) 13:00 ~ 13:45 セミナー室A

【株式会社ジョリーグッド】

- VRを放送外収入の切り札に！リアルビジネスに直結する最新VRソリューション
7/5 (木) 13:00 ~ 13:45 セミナー室B

【MARTIN AUDIO JAPAN Inc.】

- セルラー革命
7/5 (木) 14:15 ~ 15:00 セミナー室A
7/6 (金) 14:15 ~ 15:00 セミナー室A

【株式会社アスク / 株式会社ディストーム】

- 内容未定
7/5 (木) 14:15 ~ 15:00 セミナー室B
7/6 (金) 14:15 ~ 15:00 セミナー室B

【東芝メモリ株式会社】

- 撮影素材を情報漏えいから守るセキュリティ機能 Mamolica™ (マモリカ) 付きSDメモ리카ードのご紹介
7/5 (木) 14:15 ~ 15:00 セミナー室C
7/6 (金) 14:15 ~ 15:00 セミナー室C

【アビッドテクノロジー】

- 4K、HDR、HDのワークフローをスピードアップ ~新しいMedia Composerファミリーのご紹介~
7/5 (木) 14:15 ~ 15:00 セミナー室D
7/6 (金) 14:15 ~ 15:00 セミナー室D

【ソニービジネスソリューション株式会社】

- 内容未定
7/5 (木) 15:30 ~ 16:15 セミナー室A
7/6 (金) 15:30 ~ 16:15 セミナー室A

- 主催者セミナーについて (全て特設会場にて開催)

【ポストプロダクションが挑む映画製作と、その先にある世界】

- 日程及び時間は調整中
ミュージックビデオからテレビコマーシャル、映画、ドラマなど幅広いジャンルを手掛けるポストプロダクションが、ある日突然、映画「HK/変態仮面」を製作することに！

ポストプロダクションが映画製作することで、最適なワークフローの構築や技術革新への取り組みにより、「海街diary」「三度目の殺人」「銀魂」など、大作映画のクオリティアップに貢献できた。

- 講師：レスパシビジョン株式会社
代表取締役 鈴木 仁行

【カラーグレーディングセミナー (仮題)】

- 日程及び時間は調整中
講師：カラーリスト 杉山 裕信

【4K本放送開始直前セミナー (仮題)】

- 日程及び時間、講師については最終調整中

【ポストプロダクションサウンドエンジニアが作成する高解像度立体VR映像のambisonics sound】

- 日程及び時間は調整中

実際に数多くのVRコンテンツのオーディオ制作を行なっている株式会社IMGICA 村越宏之氏による「VRオーディオ制作の実践ノウハウ」。

ambisonicsで作成した「地球がむき出しの島 三宅島 リアル自然体験VR」と「オーケストラVR」のambisonics作成を中心に、収録から仕上げまで、そのノウハウをご紹介します。

- 講師：株式会社 IMGICA 映像事業本部プロダクション部 MAグループ シニアサウンドスーパーバイザー 村越 宏之
協力：株式会社 IMGICA

【4K8K放送に向けて、いま我々が考えておくべきこと】

- 7月5日 (木) 15:30 ~ 16:20
講師：日本放送協会 放送技術局 SHV 技術

推進 副部長 増田 裕康

協力：日本映画テレビ技術協会 九州支部

【8K テクネ〜クリエイターとの映像制作〜】

7月5日(木) 16:20～16:50

講師：株式会社 NHK メディアテクノロジー
放送技術本部 担当部長 田中 徹朗

協力：日本映画テレビ技術協会 九州支部

【8K コンテンツのあり方についての研究と映像制作ワークフローの解説】

7月5日(木) 16:50～17:30

講師アストロデザイン株式会社

企画部 8K 映像制作担当 金村 達宣

協力：日本映画テレビ技術協会 九州支部

■ 照明ワークショップ

昨年は、お休みしていた照明ワークショップが皆さんのご要望もあり復活しました。

講師は日本映画テレビ照明協会のドラマ部門 優秀照明賞受賞作品「愛を乞うひと」照明担当の木村 伸氏

《今回のイベント》

◆来場者の2階誘導動線の導入

今回も来場者を2階から入場させる、2階誘導動線を行います。前回の課題を改良し「よりスムーズにより快適」を目指します。

◆アウトレット販売コーナー(2階)

業界向け商品、ハード&ソフトウェア、撮影小道具等を出展社から募り「アウトレット販売コーナー」にて事務局スタッフが代理販売します。昨年始めたイベントですが、概ね好評だった為売り場を拡大いたしました。

◆スピーカー、ヘッドホーン試聴会(1階エントランス横の特設会場にて開催)

小型スピーカーやヘッドホーンを一堂に展示し、各社のプレゼンや来場者が自由に聞き比べできるイベントを行います。

スピーカーは去年の小型SRスピーカー

に加えてリクエストの多かったコラムスピーカーも展示予定です。

◆マイクロフォン試聴会(1階エントランス横の特設会場にて開催)

今年初の試みです。来場者が実際に声を出して、ポータル用マイクロフォンをヘッドフォンで試聴して頂けるイベントです。

◆ロケ用車両展示(屋外ブースにて開催)

ロケ用車両として定番のハイエースの展示と車内カスタマイズの紹介を致します。

また、電気自動車(PHV)や水素自動車(MIRAI)の展示や試乗も予定しています。

《その他》

★プロダクションカフェ(JPPA九州支部ブース)

機器展会場でレポート取材しブース内で編集、MA作業を行う予定。

リポーターは専門学校生などに行ってもらい収録から仕上げまでプロのアドバイスなどを受け体験しながらプロダクションの魅力を理解してもらうのが目的です。

★Youtuberってナニモノ?(仮題)

TV番組制作とYoutuberって何が違うの?機材ってどんなの使ってるの?

儲かっているの?等々、子供たちにとって将来なりたい職業のトップに君臨するYoutuberに今さら聞けない疑問を投げかけるトークショーを開催します。

★大学、専門学校の出展について

将来業界への進路を目指し教育を行っている専門学校、大学へ出展の要請を行いました。人材や作品、学校PR等を行い業界の人材確保、発展に協力して頂きたいと思っています。

①九州龍谷短期大学

②専門学校九州ビジュアルアーツ

③福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校

④九州大学芸術工学部

⑤ESPエンタテインメント福岡

⑥九州観光専門学校(飲食ブース)

2018年4月に福岡に開校した「ESPエンタテインメント福岡」の出展が決定しました。

学校からは「色々な現場に是非、学生を参加させたい」との要望がありました。

昨年以上に、学生の登用を増やす予定です。

福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校の舞台美術を学んでいる学生にカメラステージ装飾にご協力の予定です。また今回は飲食ブースへの参加を専門学校等へ呼びかけたところ1校参加が決定いたしました。

《実行委員から》

今回で15回目の開催となりました九州放送機器展。毎年少しずつ内容をチェンジしていく事を心がけています。今回は車両展示を行います。1つには屋外での展示物を増やしたいという事。もう一つは、カテゴリーを増やしていきたいという事です。「九州放送機器展」という名称から「機材じゃないと出展できないのでしょ?」という固定観念を徐々に減らしていき「QBE」の略称で呼んで頂けるように変化していく事が目的です。

挑戦も継続も力に変えて、九州はチームで成し遂げます。

天候だけは祈るしかできませんが。

第22回 JPPA AWARDS 2018

寺尾 爾 アワード委員会 委員長
前述の通り

■ JPPA 代表理事および業務執行理事変更の件

3月16日に開催した「JPPA第16回理事会」にて、JPPA代表理事(会長)および業務執行理事が、変更となりました。

・会長(代表理事) 三上 信一(役職変更)

・副会長 広岡 淳利(役職変更)

・副会長 松島 洋之(変更なし)

・専務理事 鈴木 仁行(変更なし)